

歯科口腔外科での手術数増加に対応します。手術数は年間2600件をめざします。

女性病棟は、安心の出産と子育てを支援します。産科病室12室をすべてシャワー付個室化、産科専用のエリアを確保しアメニティーを追求します。分娩室に加えてLDR病室(陣痛分娩室)2床を設けます。いろいろな要望にも対応、女性のみが入院する病棟として、女性特有の疾患に対応します。

総合的なリハビリテーションを継続します。総勢70名を越えるリハスタッフが、脳卒中や骨折、心臓病やがんなど様々な疾患に対して、多様で充実したリハビリを行います。

京都府がん診療推進病院として、早期発見から治療・手術・緩和ケアまでトータルながん診療を行います。透析センターは、60~65床を想定した透析センターとして拡充を図ります。

大まかな今後の工程

2019年3月頃 地域説明会

2019年6月頃 新バス停

(南太秦(京都民医連中央病院前) セレモニー)

2019年8月末 建物引き渡し

リハール・引越し準備

2019年10月頃 内覧会

2019年11月1日新病院開設

いよいよ新病院開設の年です。これまでは、職員や地域の皆さんから意見を頂き、夢を語りながら新しい建物を建てる議論をしてきました。8月には建物は完成します。これからは新しい建物を民医連の「魂」を入れる作業をすすめてまいります。

中央病院総合移転建設募金へのご協力をお願いします

組織・社保部長 中村 勝宏

京都民医連中央病院は「地域になくてもならない病院」を目標に掲げて、2019年秋の開設を目指して準備を進めています。京都民医連の第五次長期計画では、最重要課題として中央病院総合移転計画があげられています。この計画は京都民医連の急性期医療を維持・発展させる事業と、医師をはじめとする民医連医療の後継者養成を担う事業という2つの意義を持つています。中央病院はDPC病院としては府内唯一の差額ベッド代をとらず、無料

地域の健康を支え、あなたと一緒にまちづくり

京都民医連中央病院リニューアル 新病院建設 募金のお願い

京都民医連医療推進委員会

あたらしい病院は地域の健康づくりの拠点

地域ぐるみで無差別・平等の医療を支える

友の会であなたと一緒にまちづくり

京都民医連中央病院は、さらに「地域になくてもならない病院」へうまれかわります。

低額診療事業を実施している病院です。地域で格差と貧困が拡大する中で、住民の医療と健康を守る拠点として発展させていく必要があります。

昨年6月の京都民医連総会で、京都民医連のセンター病院である中央病院の総合移転を必ず成功させるためにも、事業所と共同組織の皆さんの力を総結集させた建設募金運動を取り組むことを確認し7月から開始しています。各事業所、友の会が「募金箱」ポスター「リーフレット」を活用し、11月末現在約574万円